



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5727 URL <http://www.toho-titanium.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 井ノ川 朗 TEL 0467-87-2614
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	20,184	13.3	2,539	31.7	2,804	49.9	2,297	75.1
2018年3月期第2四半期	17,808	15.1	1,928	81.4	1,870	40.6	1,312	44.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,299百万円 (75.9%) 2018年3月期第2四半期 1,307百万円 (56.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	32.28	—
2018年3月期第2四半期	18.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	85,632	43,623	50.8
2018年3月期	83,945	42,037	49.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 43,497百万円 2018年3月期 41,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,200	10.6	5,100	29.8	5,000	43.1	4,100	20.8	57.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2018年10月31日）公表いたしました「2019年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	71,270,910株	2018年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	97,671株	2018年3月期	97,609株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	71,173,275株	2018年3月期2Q	71,173,398株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料、決算説明会内容の入手方法）

・決算説明会は、2018年11月8日に開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善がみられ、緩やかな回復基調が続きました。

こうした中、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高201億84百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益25億39百万円（同31.7%増）、経常利益28億4百万円（同49.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億97百万円（同75.1%増）となりました。

売上高については、当社製品の最終需要先での業況が好調であったことから、各製品の販売は総じて堅調に推移し、前年同期比増収となりました。経常利益についても増販及び外貨建債権の換算差益の増加等により、前年同期比増益となりました。

金属チタン事業

当第2四半期連結累計期間における金属チタンの需要については、主な最終需要である航空機の生産が堅調であったほか、一般工業用ではプレート式熱交換器向け等の需要があり、総じて安定的に推移しました。

こうした状況のもと、同期間の金属チタン事業は、一部海外顧客の工場の操業トラブルの影響があったもののスポンジチタンが前年同期比増販となり、売上高は122億1百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益は10億51百万円（同81.5%増）となりました。

機能化学品事業

当第2四半期連結累計期間において機能化学品の需要は堅調に推移しました。

こうした状況のもと、同期間の機能化学品事業は、プロピレン重合用触媒が増販となったほか、化学品（電子部品材料等）の販売も総じて堅調に推移し、売上高は79億83百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は27億2百万円（同7.3%増）となりました。

セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区 分	2019年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	12,201	10,404	17.3%
機能化学品事業	7,983	7,403	7.8%
合 計	20,184	17,808	13.3%

セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区 分	2019年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	1,051	579	81.5%
機能化学品事業	2,702	2,518	7.3%
全 社 費 用	△1,214	△1,169	—
合 計	2,539	1,928	31.7%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、減価償却による固定資産の減少等があったものの、現金及び預金、未収入金、たな卸資産の増加等により、前連結会計年度末比16億87百万円増の856億32百万円となりました。

負債の部は、未払法人税等の増加等を主因に、前連結会計年度末比1億1百万円増の420億9百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比15億85百万円増の436億23百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の49.9%から50.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は22億70百万円と期首に比べ10億85百万円の増加となりました。キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、36億24百万円の収入となりました。これはたな卸資産の増加9億19百万円、未収入金の増加4億35百万円、賞与引当金の減少2億56百万円等の資金減少要因の一方で、税金等調整前四半期純利益27億93百万円、減価償却費24億77百万円等の資金増加要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、16億25百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出16億16百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億25百万円の支出となりました。これは配当金の支払額7億11百万円、リース債務の返済による支出3億8百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2018年7月27日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2018年10月31日)公表の「2019年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,184	2,270
受取手形及び売掛金	6,350	6,237
商品及び製品	13,741	14,764
仕掛品	5,647	5,807
原材料及び貯蔵品	3,837	3,574
未収入金	2,715	3,308
その他	292	139
流動資産合計	33,769	36,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,773	13,570
機械装置及び運搬具(純額)	21,953	21,728
工具、器具及び備品(純額)	148	185
土地	2,219	2,219
リース資産(純額)	4,294	3,996
建設仮勘定	625	929
有形固定資産合計	43,015	42,630
無形固定資産		
ソフトウェア	172	148
ソフトウェア仮勘定	—	128
その他	59	55
無形固定資産合計	231	332
投資その他の資産		
投資有価証券	78	93
関係会社株式	5,155	5,155
繰延税金資産	1,001	800
退職給付に係る資産	182	193
その他	513	326
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,929	6,567
固定資産合計	50,176	49,530
資産合計	83,945	85,632

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027	1,985
短期借入金	18,586	20,854
リース債務	587	558
未払法人税等	325	408
賞与引当金	916	660
役員賞与引当金	88	40
その他	1,565	2,131
流動負債合計	24,098	26,638
固定負債		
長期借入金	12,874	10,703
リース債務	3,823	3,544
資産除去債務	1,111	1,123
固定負債合計	17,810	15,371
負債合計	41,908	42,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	16,860	18,446
自己株式	△76	△76
株主資本合計	41,769	43,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	55
繰延ヘッジ損益	△1	△5
為替換算調整勘定	49	61
退職給付に係る調整累計額	48	30
その他の包括利益累計額合計	141	142
非支配株主持分	125	125
純資産合計	42,037	43,623
負債純資産合計	83,945	85,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	17,808	20,184
売上原価	13,173	14,862
売上総利益	4,634	5,321
販売費及び一般管理費	2,706	2,782
営業利益	1,928	2,539
営業外収益		
為替差益	23	350
物品売却益	8	13
受取技術料	13	13
その他	30	12
営業外収益合計	76	390
営業外費用		
支払利息	118	106
その他	16	19
営業外費用合計	134	125
経常利益	1,870	2,804
特別損失		
固定資産除却損	1	10
特別損失合計	1	10
税金等調整前四半期純利益	1,869	2,793
法人税、住民税及び事業税	201	289
法人税等調整額	354	205
法人税等合計	555	494
四半期純利益	1,313	2,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,312	2,297

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,313	2,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	10
繰延ヘッジ損益	△0	△3
為替換算調整勘定	14	11
退職給付に係る調整額	△22	△18
その他の包括利益合計	△6	0
四半期包括利益	1,307	2,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,305	2,297
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,869	2,793
減価償却費	2,577	2,477
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△240	△256
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△4	△10
受取利息及び受取配当金	△1	△2
支払利息	118	106
固定資産除却損	1	10
売上債権の増減額 (△は増加)	△702	112
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△366	△919
仕入債務の増減額 (△は減少)	40	△42
未払金の増減額 (△は減少)	△82	△15
未払費用の増減額 (△は減少)	40	△72
未収入金の増減額 (△は増加)	△501	△435
未収消費税等の増減額 (△は増加)	50	△9
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20	—
その他	86	191
小計	2,903	3,926
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△102	△107
法人税等の支払額	△405	△196
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,397	3,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,275	△1,616
無形固定資産の取得による支出	—	△11
その他	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,275	△1,625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,800	12,500
短期借入金の返済による支出	△10,400	△10,000
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,410	△2,403
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△426	△308
配当金の支払額	△498	△711
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△936	△925
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	198	1,085
現金及び現金同等物の期首残高	1,620	1,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,819	2,270

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン事業	機能化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,404	7,403	17,808	—	17,808
セグメント間の内部売上高又は 振替高	656	4	660	△660	—
計	11,061	7,407	18,468	△660	17,808
セグメント利益	579	2,518	3,097	△1,169	1,928

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,169百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン事業	機能化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,201	7,983	20,184	—	20,184
セグメント間の内部売上高又は 振替高	789	2	791	△791	—
計	12,990	7,986	20,976	△791	20,184
セグメント利益	1,051	2,702	3,754	△1,214	2,539

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,214百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。